



2021年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年5月10日

上場会社名 ライオン株式会社
コード番号 4912 URL <http://www.lion.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 掬川 正純
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 竹生 昭彦

(TEL) 03-3621-6211

四半期報告書提出予定日 2021年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	82,456	△0.1	8,281	△55.8	8,849	△53.6	6,414	△54.2	5,955	△56.1	9,775	69.7
2020年12月期第1四半期	82,555	4.6	18,733	214.7	19,076	212.5	14,018	249.8	13,559	294.0	5,760	△2.5

(注) 事業利益 2021年12月期第1四半期 8,090百万円 (△11.0%) 2020年12月期第1四半期 9,093百万円 (63.5%)

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	20.49	20.45
2020年12月期第1四半期	46.64	46.58

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	403,150	251,181	237,210	58.8
2020年12月期	435,501	244,856	231,723	53.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	11.00	—	12.00	23.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	173,000	2.3	11,500	△55.7	8,000	△57.0	27.52
通期	365,000	2.7	30,000	△31.9	21,000	△29.7	72.24

(注) 1. 事業利益 第2四半期(累計) 11,500百万円 通期 30,000百万円

2. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	299,115,346株	2020年12月期	299,115,346株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	8,392,874株	2020年12月期	8,399,357株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	290,718,407株	2020年12月期1Q	290,709,635株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、経済情勢、競合状況、為替の変動等にかかわるリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、上記予想数値とは大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期の連結業績は、売上高824億5千6百万円（前年同期比0.1%減、為替変動の影響を除いた実質前年同期比0.9%減）、事業利益80億9千万円（前年同期比11.0%減）、営業利益82億8千1百万円（同55.8%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益59億5千5百万円（同56.1%減）となりました。

当社グループは、新たに中長期経営戦略フレーム「*Vision 2030*」を策定し、サステナビリティ重要課題への取組みを推進するとともに、3つの成長戦略である、「4つの提供価値領域における成長加速」、「成長に向けた事業基盤への変革」、「変革を実現するダイナミズムの創出」にもとづく施策を推進しています。また、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、当社グループは感染拡大の防止と従業員の安全確保に最大限努めるとともに、衛生習慣の定着に向けた活動にも注力しています。

国内事業では、ハミガキ、衛生関連品、柔軟剤、台所用洗剤、皮膚用薬等において新製品を導入し、効率的なマーケティング施策等により育成を図りました。

海外事業では、オーラルケア、ビューティケア等のパーソナルケア分野の拡大施策を推進するとともに、洗濯用洗剤等のホームケア分野の競争力強化と収益性向上に取り組みました。

【連結業績の概況】

(単位：百万円)

	当第1四半期	売上比	前第1四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	82,456		82,555		△98	△0.1%
事業利益	8,090	9.8%	9,093	11.0%	△1,003	△11.0%
営業利益	8,281	10.0%	18,733	22.7%	△10,452	△55.8%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	5,955	7.2%	13,559	16.4%	△7,603	△56.1%

(注) 事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除したもので、恒常的な事業の業績を測る当社の利益指標です。

【セグメント別の業績】

(単位：百万円)

	売上高				セグメント利益（事業利益）			
	当第1四半期	前第1四半期	増減額	増減率	当第1四半期	前第1四半期	増減額	増減率
一般用消費財事業	55,033	55,886	△852	△1.5%	5,624	7,233	△1,608	△22.2%
産業用品事業	14,246	13,579	666	4.9%	943	661	282	42.7%
海外事業	25,886	24,735	1,150	4.7%	1,698	1,571	126	8.1%
その他	7,682	5,920	1,762	29.8%	433	422	10	2.5%
小計	102,848	100,120	2,727	2.7%	8,700	9,888	△1,188	△12.0%
調整額	△20,391	△17,565	△2,826	—	△609	△795	185	—
合計	82,456	82,555	△98	△0.1%	8,090	9,093	△1,003	△11.0%

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<一般用消費財事業>

当事業は、「オーラルケア分野」、「ビューティケア分野」、「ファブリックケア分野」、「リビングケア分野」、「薬品分野」、「その他の分野」で構成されています。全体の売上高は、前年同期比1.5%の減少となりました。セグメント利益は、前年同期比22.2%の減少となりました。

(単位：百万円)

	当第1四半期	売上比	前第1四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	55,033		55,886		△852	△1.5%
セグメント利益	5,624	10.2%	7,233	12.9%	△1,608	△22.2%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第1四半期では4,692百万円、前第1四半期では3,656百万円となっております。

[売上高の分野別状況]

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	増減額	増減率
オーラルケア分野	15,267	14,927	339	2.3%
ビューティケア分野	5,237	7,703	△2,466	△32.0%
ファブリックケア分野	13,711	13,505	205	1.5%
リビングケア分野	5,515	5,149	365	7.1%
薬品分野	5,125	5,468	△342	△6.3%
その他の分野	10,176	9,131	1,045	11.5%

(オーラルケア分野)

ハミガキは、「システム E X ^{イーエックス} ハミガキ」が前年同期を下回りましたが、「システム ハグキプラス プレミアムハミガキ」が好調に推移するとともに、歯の表面にできるマイクロなキズに残る着色汚れまで徹底除去する美白ハミガキの新製品「Lightee ^{ライティイー} ハミガキ」がお客様のご好評をいただき、全体の売上は前年同期を上回りました。

ハブラシは、「ビトイーン」が前年同期を下回りましたが、「NONIO ^{ノニオ} ハブラシ」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

デンタルリンスは、昨年発売した「NONIO ^{ノニオ} プラスホワイトニングデンタルリンス」がお客様のご好評をいただきましたが、全体の売上は前年同期比微減となりました。

(ビューティケア分野)

ハンドソープは、前年同期の需要拡大の反動で「キレイキレイ薬用泡ハンドソープ」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

ボディソープは、「hadakara ^{ハダカラ} ボディソープ」が堅調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

制汗剤は、「Ban ^{バン} 汗ブロックロールオン」シリーズが前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

(ファブリックケア分野)

柔軟剤は、「ソフラン プレミアム消臭」が堅調に推移するとともに、「ソフラン アロマリッチ」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

洗濯用洗剤は、液体高濃度洗剤「トップ スーパー^{ナノックス}ニオイ専用」が好調に推移しましたが、液体洗剤「トップ クリアリキッド」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

(リビングケア分野)

台所用洗剤は、いつも通り洗うだけですすぎの水切れが良く食器が速く乾き、清潔に洗い上がる新製品「CHARMY Magica 速乾^{プラス} + カラッと除菌」がお客様のご好評をいただくとともに、食器洗い機専用洗剤「CHARMY クリスタ^{チャーミー}」が順調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

住居用洗剤は、浴室用洗剤「ルックプラス バスタブクレンジング」や浴室用カビ防止剤「ルックプラス おふろの防カビくん煙剤」が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

(薬品分野)

解熱鎮痛薬は、「バファリン プレミアム」が伸びなやみ、全体の売上は前年同期比微減となりました。

点眼剤は、「スマイル40 プレミアム^{ディーエックス} D X」が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期を下回りました。

(その他の分野)

通信販売商品は、「ナイスリムエッセンス ラクトフェリン」が堅調に推移しましたが、全体の売上は前年同期を下回りました。

ペット用品は、猫用トイレの砂「ニオイをとる砂」が堅調に推移するとともに、オーラルケア用品が好調に推移し、全体の売上は前年同期を上回りました。

＜産業用品事業＞

当事業は、タイヤの防着剤等を取り扱う「モビリティ分野」、2次電池用導電性カーボン等の「エレクトロニクス分野」、施設・厨房向け洗浄剤等の「業務用洗浄剤分野」等で構成されており、全体の売上高は、前年同期比4.9%の増加となりました。セグメント利益は、前年同期比42.7%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第1四半期	売上比	前第1四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	14,246		13,579		666	4.9%
セグメント利益	943	6.6%	661	4.9%	282	42.7%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第1四半期では6,001百万円、前第1四半期では5,925百万円となっております。

モビリティ分野では、タイヤの防着剤やゴム離型剤が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

エレクトロニクス分野では、車載電池向けカーボンや半導体搬送材料向け導電樹脂が好調に推移し、全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

業務用洗浄剤分野では、ハンドソープが前年同期を大幅に上回りましたが、厨房向け消毒用アルコールや食器洗浄機用洗浄剤が前年同期を下回り、全体の売上は前年同期比微減となりました。

＜海外事業＞

海外は、タイ、マレーシア等の東南アジア、韓国、中国等の北東アジアにおいて事業を展開しております。全体の売上高は、前年同期比4.7%の増加（為替変動の影響を除いた実質前年同期比は1.8%の増加）となりました。セグメント利益は、前年同期比8.1%の増加となりました。

(単位：百万円)

	当第1四半期	売上比	前第1四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	25,886		24,735		1,150	4.7%
セグメント利益	1,698	6.6%	1,571	6.4%	126	8.1%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第1四半期では2,531百万円、前第1四半期では2,588百万円となっております。

〔地域別売上状況〕

(単位：百万円)

	当第1四半期	前第1四半期	増減額	増減率
東南アジア	16,779	16,515	263	1.6%
北東アジア	9,106	8,219	886	10.8%

(地域別の状況)

東南アジア全体の売上高は、前年同期比1.6%の増加となりました。

タイでは、洗濯用洗剤が堅調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を上回りました。

また、マレーシアでは洗濯用洗剤「トップ」が好調に推移し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

北東アジア全体の売上高は、前年同期比10.8%の増加となりました。

韓国では、ハンドソープが前年同期を下回り、円貨換算後の全体の売上は前年同期比微減となりました。

また、中国では、「システム」ハブラシが前年同期を大幅に上回るとともに、日本からの輸入品の販売が大幅に増加し、円貨換算後の全体の売上は前年同期を大幅に上回りました。

<その他> (建設請負事業等)

(単位：百万円)

	当第1四半期	売上比	前第1四半期	売上比	増減額	増減率
売上高	7,682		5,920		1,762	29.8%
セグメント利益	433	5.6%	422	7.1%	10	2.5%

(注)売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでおり、その金額は当第1四半期では7,224百万円、前第1四半期では5,391百万円となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期における資産、負債および資本の状況 (連結財政状態)

	当第1四半期 連結会計期間末	前連結会計 年度末	増減
資産合計 (百万円)	403,150	435,501	△32,351
資本合計 (百万円)	251,181	244,856	6,324
親会社所有者帰属持分比率 (%)	58.8	53.2	5.6

資産合計は、現金及び現金同等物の減少等により、前連結会計年度末と比較して323億5千1百万円減少し、4,031億5千万円となりました。資本合計は、63億2千4百万円増加し、2,511億8千1百万円となり、親会社所有者帰属持分比率は58.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想については変更しておりません。

(当期業績予想値算出の前提条件)

主要な為替レートは、104円/米ドル、3.4円/パーツとしています。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	121,534	87,848
営業債権及びその他の債権	62,421	55,953
棚卸資産	45,158	52,457
その他の金融資産	8,592	9,065
その他の流動資産	5,108	7,234
小計	242,815	212,560
売却目的で保有する資産	2,603	2,181
流動資産合計	245,419	214,742
非流動資産		
有形固定資産	118,379	117,403
のれん	182	182
無形資産	18,921	19,563
使用権資産	4,873	5,150
持分法で会計処理されている 投資	6,310	7,012
繰延税金資産	5,632	3,364
退職給付に係る資産	9,936	9,745
その他の金融資産	24,859	24,713
その他の非流動資産	986	1,272
非流動資産合計	190,081	188,408
資産合計	435,501	403,150

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	141,259	115,976
借入金	1,405	1,412
未払法人所得税等	11,569	1,572
引当金	1,401	1,758
リース負債	1,387	1,396
その他の金融負債	893	1,084
その他の流動負債	8,710	6,036
流動負債合計	166,628	129,238
非流動負債		
借入金	639	657
繰延税金負債	1,278	1,296
退職給付に係る負債	13,009	11,344
引当金	357	358
リース負債	4,685	5,015
その他の金融負債	2,487	2,488
その他の非流動負債	1,558	1,569
非流動負債合計	24,016	22,730
負債合計	190,644	151,968
資本		
資本金	34,433	34,433
資本剰余金	34,986	35,020
自己株式	△4,739	△4,736
その他の資本の構成要素	10,076	11,544
利益剰余金	156,965	160,947
親会社の所有者に帰属する 持分合計	231,723	237,210
非支配持分	13,133	13,970
資本合計	244,856	251,181
負債及び資本合計	435,501	403,150

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	82,555	82,456
売上原価	△40,603	△41,192
売上総利益	41,951	41,264
販売費及び一般管理費	△32,858	△33,174
その他の収益	11,116	364
その他の費用	△1,476	△173
営業利益	18,733	8,281
金融収益	82	118
金融費用	△37	△40
持分法による投資利益	298	490
税引前四半期利益	19,076	8,849
法人所得税費用	△5,057	△2,435
四半期利益	14,018	6,414
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	13,559	5,955
非支配持分	459	458
四半期利益	14,018	6,414
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	46.64	20.49
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	46.58	20.45

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期利益	14,018	6,414
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の純変動	△2,487	25
確定給付型退職給付制度の再測定額	△2,659	1,442
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	△0	1
純損益に振り替えられることのない項目 合計	△5,146	1,469
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の純変動	△0	0
在外営業活動体の換算差額	△2,499	1,682
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	△612	208
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△3,111	1,891
税引後その他の包括利益合計	△8,258	3,361
四半期包括利益	5,760	9,775
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	6,304	8,938
非支配持分	△544	837
四半期包括利益	5,760	9,775

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付型退職給付制度の再測定額
2020年1月1日残高	34,433	34,788	△4,739	143	11,289	—
四半期利益						
その他の包括利益					△2,433	△2,659
四半期包括利益合計	—	—	—	—	△2,433	△2,659
配当金						
自己株式の取得			△0			
自己株式の処分						
株式報酬取引		21				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替						2,659
所有者との取引額等合計	—	21	△0	—	—	2,659
2020年3月31日残高	34,433	34,809	△4,740	143	8,856	—

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計			
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計					
2020年1月1日残高	—	△113	11,320	132,619	208,421	12,780	221,201	
四半期利益			—	13,559	13,559	459	14,018	
その他の包括利益	△0	△2,162	△7,255		△7,255	△1,003	△8,258	
四半期包括利益合計	△0	△2,162	△7,255	13,559	6,304	△544	5,760	
配当金				△3,197	△3,197	—	△3,197	
自己株式の取得						△0	△0	
自己株式の処分						—	—	
株式報酬取引					21		21	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			2,659	△2,659	—		—	
所有者との取引額等合計	—	—	2,659	△5,856	△3,177	—	△3,177	
2020年3月31日残高	△0	△2,275	6,723	140,321	211,548	12,236	223,784	

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の純変動	確定給付型退職給付制度の再測定額
2021年1月1日残高	34,433	34,986	△4,739	138	10,592	—
四半期利益						
その他の包括利益					53	1,442
四半期包括利益合計	—	—	—	—	53	1,442
配当金						
自己株式の取得			△1			
自己株式の処分			3			
株式報酬取引		34				
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					△72	△1,442
所有者との取引額等合計	—	34	2	—	△72	△1,442
2021年3月31日残高	34,433	35,020	△4,736	138	10,573	—

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			利益剰余金	合計			
	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動	在外営業活動体の換算差額	合計					
2021年1月1日残高	△0	△654	10,076	156,965	231,723	13,133	244,856	
四半期利益			—	5,955	5,955	458	6,414	
その他の包括利益	0	1,486	2,982		2,982	378	3,361	
四半期包括利益合計	0	1,486	2,982	5,955	8,938	837	9,775	
配当金				△3,488	△3,488	—	△3,488	
自己株式の取得					△1		△1	
自己株式の処分					3		3	
株式報酬取引					34		34	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			△1,514	1,514	—		—	
所有者との取引額等合計	—	—	△1,514	△1,973	△3,451	—	△3,451	
2021年3月31日残高	0	832	11,544	160,947	237,210	13,970	251,181	

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。国内の関係会社は、製品・サービスの特性に応じて営業活動を行っております。

海外の関係会社は、独立した経営単位であり、地域の特性に応じて営業活動を行っております。

したがって、当社グループは、事業本部および会社を基礎とした製品・サービス別および地域別のセグメントから構成されており、「一般用消費財事業」、「産業用品事業」、「海外事業」の3つの報告セグメントに区分しております。

当社の報告セグメントは、以下のとおりであります。

① 一般用消費財事業

主に日本において、日用品、一般用医薬品、機能性食品の製造販売および売買を行っております。

(主要製品)ハミガキ、ハブラシ、ハンドソープ、解熱鎮痛薬、点眼剤、栄養ドリンク剤、洗濯用洗剤、台所用洗剤、柔軟剤、住居用洗剤、漂白剤、ペット用品

② 産業用品事業

主に日本および海外諸地域に対する化学品原料、業務用品等の製造販売および売買を行っております。

(主要製品)油脂活性剤、導電性カーボン、業務用洗浄剤

③ 海外事業

海外の関係会社において、主に日用品の製造販売および売買を行っております。

④ その他

日本において当社の子会社が、主に当社グループの各事業に関連した事業を行っております。

(主要製品およびサービス)建設請負、不動産管理、人材派遣

(2) 報告セグメントの売上高および業績

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	一般用 消費財事業	産業用品 事業	海外事業				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	52,229	7,653	22,146	528	82,558	△3	82,555
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注) 1	3,656	5,925	2,588	5,391	17,561	△17,561	—
計	55,886	13,579	24,735	5,920	100,120	△17,565	82,555
事業利益	7,233	661	1,571	422	9,888	△795	9,093
その他の収益							11,116
その他の費用							△1,476
営業利益							18,733
金融収益							82
金融費用							△37
持分法による投資利益							298
税引前四半期利益							19,076

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 事業利益の調整額△795百万円は、主に内部取引消去額および報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3 売上総利益から事業利益への調整は以下の通りです。

売上総利益	41,951百万円
販売費及び一般管理費	△32,858百万円
事業利益	9,093百万円

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益であり、当社の取締役会では事業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	計	調整額 (注) 2	連結 (注) 3
	一般用 消費財事業	産業用品 事業	海外事業				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	50,340	8,244	23,354	458	82,397	59	82,456
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注) 1	4,692	6,001	2,531	7,224	20,450	△20,450	—
計	55,033	14,246	25,886	7,682	102,848	△20,391	82,456
事業利益	5,624	943	1,698	433	8,700	△609	8,090
その他の収益							364
その他の費用							△173
営業利益							8,281
金融収益							118
金融費用							△40
持分法による投資利益							490
税引前四半期利益							8,849

(注) 1 報告セグメント内の内部取引を含んでおります。

2 事業利益の調整額△609百万円は、主に内部取引消去額および報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

3 売上総利益から事業利益への調整は以下の通りです。

売上総利益	41,264百万円
販売費及び一般管理費	△33,174百万円
事業利益	8,090百万円

事業利益は、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除した利益であり、当社の取締役会では事業利益に基づいて事業セグメントの実績を評価しております。